



こくろうよなご

第 22 号

2025年7月25日

発行責任者 倉下文明

部 宣 教 集 編

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



ツナグの登録確認と活用を！

第2回組織対策会議を開催

去る7月13日、地方本部事務所に於いて「第2回地本組織対策会議」を開催してきました。職場実態の交流から組織拡大の課題を探ると同時に「ツナグ」の活用など当面する取り組みについて意思統一しました。

働き続けられるのか！？

はじめに4月配属の新規採用者への加入行動の総括について議論してきました。

組合員が少なくなっている中でも、いくつかの職場では新規採用者に対してキチンとチラシを渡して頂いていきます。加入した・しないに目を奪われず、国労運動を理解してもらう活動を継続していく事が重要であることを意思統一してきました。

次に、各機関で掴まれている職場の状況などから、組織拡大の可

能性など議論してきま
した。その中で、参加
者から共通して出され
ていたのは、若手も年
配者も問わず、働き続
けることへの不安が増
大しているという事だ
す。「電気と工務が
同じフロアーにいても
挨拶も話もしない。社
会人採用者が2名退職」
「産休・育休を取ると
復帰するまで職場は欠
員状態」「グラントシ
ニアに採用されるか心
配、希望すれば全員採
用にすべき」「組織
再編で駅と運転区に分
かれた。誰か誰だか分
からない」「中統本部
からの支援で、担当者
が採用の厳しさを話し
ていた。人材獲得もま
まならない」「シニア
社員も多いが、あちら
こちらの駅で仕事をさ
せられている。いい様
に使われている」「転
勤した先でメンタルに
なったり、本人同意な
く遠隔地への転勤も行
われている。何を基に

市民の思いはここに！

失われる街の魅力！

去る7月8日、島根県支部事務所に於いて「第2回浜田市議会議員選挙対策会議」を開催しました。

会議では、浜田市議会選挙の争点などについて、率直に意見を交わしてきました。

その中で、若い人にとって浜田市は魅力的な町になっていないと言う意見が出されてい

ます。「駅前や商店街はシャッター通りとなり、飲食したり買い物したりするところがない、遊びに行くのも益田や広島に出るしかない。ファーストフードの店なども進出してこない。駅前で飲みに行く若い人を見かけることもない。これでは、街に活気も生まれるはずがない」などと言われていました。

民主主義の学校！！

市議會選舉と同一日程で施行される市長選では、「浜田駅近くの酒造跡地を活用した「神樂伝承・郷土資料館」の建設の是非なども一つの大きな争点になりそうですが、市民の暮らしや思いは何処にあるのか、そこに迫りながら政策を訴えて行く事が重要であることとを確認してきました。具体的な取り組みとして、石見労協加盟組織である「西川病院労

です。地方自治は民主主義の学校とも言われますが、この意味は「住民の意思をより反映させられるのが地方議会だ」という事です。

働く者・生活するものの声を市政に届ける為、何としても小川候補を四たび市政へと送り出そうではありませんか。

一方、今年の7月まで組合員2人がシニア満期で退職、組合員が一人職場となる仲間からは、「3人組合員が居たことの心強さを感じている」とも報告していました。希薄な人間関係、共に働く仲間を氣遣うことさえできない職場の現状の裏返しであると感じました。会議の最後に、現在

国労本部が取り組んでいる情報発信アプリ「ツナグ」の登録確認と活用についても議論してきました。

今後、組合員の更な

る減少が避けられない中で、如何にして情報共有を図るのか、組合員の現状や声をすくいあげるのかが大変重要であり、地方本部専用

ページを作成すること
を確認しています。

登録がまだの方、登
録しても開けない方の
把握と対応方について
意思統一してきました。

